

環境政策の超長期ビジョン策定

27百万円（30百万円）

総合環境政策局環境計画課

1．事業の概要

今後の環境・資源制約の強まり、国際的相互依存の進展、日本の人口減少等の長期的趨勢の中で、今後の持続可能な社会の形成を目指すために、2050年頃の地球、アジア及び日本の環境を見通した超長期の展望を専門的な知見から検討し、それに基づく政策提言を行う。

2．事業計画

18年度に引き続き、有識者を交え、地球環境問題、世界的な人口問題、日本の高齢化、アジア諸国の経済成長等による日本の環境政策に与える影響や複数シナリオによる将来展望の検討を行うとともに、その検討のために必要な情報収集を行う。さらには、2050年頃に実現すべき持続可能な社会の姿とそのための対策・技術選択肢及び2050年に向けた道筋（ロードマップ）について検討を行い、19年度中に超長期ビジョンを取りまとめる。

また、各国の政府関係者、有識者等を交えながら、国際シンポジウムを行い、取りまとめた超長期ビジョンを対外的に発信する。

3．施策の効果

超長期のビジョンを提示することにより、幅広い関係者による取組について方向付けを行うことができる。また、アジア地域及び世界における議論に知的な貢献を行うことができる。